

会員数が900店超える 東京代協 磯氏が新会長に 28年度通常総会を開催



挨拶する金子氏



新会長の磯氏

東京代協は5月17日、東京・千代田区の損保会館で平成28年度通常総会を開いた。

冒頭で挨拶した金子智明会長は「来店型保険ショップやダイレクト販売などのチャネル間競争

が一層、激化した1年だったと思う」と昨年度を振り返った。一方で「いよいよ改正保険業法が施行されることとなり、意向把握や情報提供、体制整備が喫緊に求められる段階となった」と述べるなど、今期の代理店や代協がすべき方向性を示した。

総会では平成27年度事業報告や28年度事業計画など8議案を審議し、いずれも承認可決。27年度事業報告の説明にあつた金子氏は、会員代理店数が増加に転じた現状について「各会員代理店が会員増強に取り組んでくれた結果、東京代協の会員数は5年ぶりに900店を超えることができたと会員代理店に謝辞。

この勢いを今年度もつなげていきたいと述べた。今期の事業計画については「各支部での情報交換や勉強会、セミナーなど本業に生かせるような活動を支援していく」とするなど、支部の活性化に努める考えを示した。

収支決算の審議の際は、次期繰越金が5000万円を超える点について会員から「これほど多額を繰り越す必要はないのではないか」との声があがるなど、代協活動に有効活用することを提案。これを受けた執行部は「職業団体として会員の皆さんを守っていく考えは変わらない」という考えのもとで、例えば首都直下型地震が起きたとき

などのために、支出予算の2年分程度は備えておく必要がある」と説明し、理解を求めた。

東京代協では今総会が役員改選期にあたり、2期4年の会長職を務めた金子氏が退任。新会長には磯利二副会長が選任された。

今後の代協運営にあたり抱負を述べた磯新会長は「消費者や保険会社、行政、同業他社などすべてへのステークホルダーに畏敬の念を持ってもらえ、互いに協力しあうような団体になるよう取り組んでいきたい」と挨拶するとともに「そのためには会員代理店一人ひとりが自主自立しなければいけない」と呼びかけた。

横浜南支部と横須賀支部が合併 「みなと支部」設立総会 神奈川県代協



佐藤支部長

神奈川県代協は5月20日、横浜南支部と横須賀支部の解散総会および両支部の合併による新支部「みなと支部」の設立総会を横浜市の損保ジャパ

ン日本興亜港南支社で開いた。みなと支部長には佐藤洋一氏(株式会社安田保険センター)が就任

挨拶した佐藤支部長は「平成26年12月から1年半かけて支部合併に向けて取り組んできた。皆さんの協力のおかげで無事、支部合併することができた」と謝辞。

神奈川県代協の雨宮豊専務理事は「代協の根幹は支部の活動にある。そのためには各支部の組織体制がしっかりしていないければならない。皆さんには誇り高い支部運営をしてもらいた



総会後の記念撮影

い」と呼びかけた。保険会社からは損保ジャパン日本興亜の田村司理店にとっては大きなチャンスとなる。組織の動き方を考え、自分たちが

の未来を開いてもらいたい」と期待を示し、三浦氏は「代協に加入している代理店は代理店としての使命感が非常に強いように思う」と、川口氏は「地震保険普及のチラシ配布のような皆さんの地道な活動がお客様からの感謝につながる」と挨拶するなど、代協活動の意義を高く評した。

総会では平成28年度事業計画などを審議。今後の活動について佐藤支部長は「保険各社の代理店」と代協が合同で取り組めることがあれば進めていきたい」と述べると、代協活動の展開にあたって保険会社への協力も求めた。